

いぐさ(畳表)をめぐる事情

令和2年6月

農林水産省

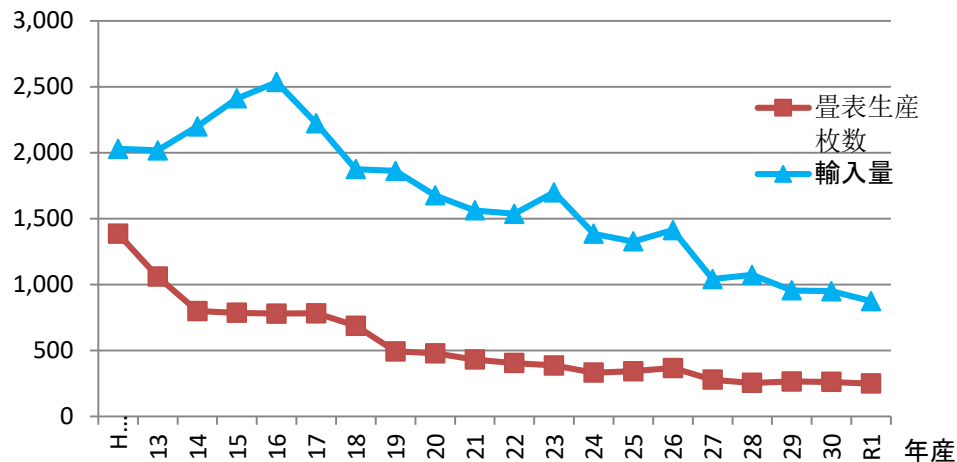
1. 供給の動向

○ 畳表の国内供給量は平成17年頃まで3千万枚程度で推移していたが、その後は減少傾向にあり、平成23年は東日本大震災関連の需要増への期待感を背景とする輸入量の増加により、一時的に盛り返したものの、それ以降は再び減少に転じた。

令和元年い業年度の畳表輸入量数は前年比8%減の874万枚となり、畳表生産枚数は前年比4%減の250万枚となった。なお、輸入品のほとんどは中国産である。

○ 令和元年産の自給率は、前年並の22%であった。

年	畳表輸入量 ① (万枚)	畳表生産枚数 ② (万枚)	畳表供給量 ①+② (万枚)	自給率 (%)	(参考) 輸出货量 (万枚)
H8	1,137	2,694	3,831	70	7
10	1,034	2,208	3,242	68	—
12	2,030	1,387	3,417	41	13
14	2,200	799	2,999	27	25
16	2,536	780	3,316	24	17
17	2,223	782	3,005	26	14
18	1,875	688	2,563	27	39
19	1,862	493	2,355	21	11
20	1,677	479	2,156	22	9
21	1,562	432	1,994	22	10
22	1,537	405	1,942	21	24
23	1,699	387	2,086	19	3
24	1,385	332	1,717	19	31
25	1,327	343	1,670	21	16
26	1,413	367	1,780	21	46
27	1,042	278	1,320	21	22
28	1,073	254	1,327	19	8
29	986	265	1,251	21	12
30	942	261	1,203	22	22
R元	874	250	1,124	22	40



年	福岡	熊本
H22	16	389
23	8	379
24	6	326
25	6	337
26	5	362
27	4	274
28	4	250
29	3	262
30	3	258
R元	3	247

単位(万枚)

資料:財務省「貿易統計」、農林水産省統計部、全国い生産団体連合会(年は当該年の前年7月から当年6月まで)

注1:輸入量(枚数)は、輸入重量を1.7kg/枚で除したものの。

注2:国内生産量は、平成13年まで全国い生産団体連合会調べ、平成14年以降は農林水産省統計部調査(主産県)による。

注3:輸出货量には、敷物及びすだれ以外の植物性材料製の組物材料からなる物品等の輸出货量も含まれている。

2. 生産の動向

- いぐさの生産は熊本県が大宗を占めるが、生活様式の洋風化や景気低迷による畳表需要の減少等の影響により作付面積は減少傾向が続いており、令和元年産は476ha(対前年比12%減)となった。
- また、い生産農家数についても減少傾向が続いており、令和元年は406戸(対前年比10%減)となっている。
- 令和元年産については、生育期間の天候がおおむね順調に経過したことから、10a当たり収量は平年を上回る1,500kgとなった。

年	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	単収 (kg/10a)	畳表 生産枚数 (万枚)	い生産 農家数 (戸)
H12	2,730	29,400	1,080		
13	1,870	21,300	1,140		
14	1,810	20,700	1,140	799	1,340
15	1,870	20,500	1,100	786	1,330
16	1,800	20,700	1,150	780	1,260
17	1,700	21,800	1,280	782	1,170
18	1,370	15,300	1,120	688	1,030
19	1,110	15,200	1,370	493	851
20	1,070	13,700	1,280	479	806
21	1,000	14,300	1,430	432	767
22	899	11,500	1,280	405	705
23	838	9,640	1,150	387	653
24	854	10,600	1,240	332	639
25	818	11,800	1,440	343	622
26	739	10,100	1,370	367	576
27	701	7,800	1,110	278	550
28	643	8,340	1,300	254	522
29	578	8,530	1,480	265	474
30	541	7,500	1,390	261	450
R1	476	7,130	1,500	250	406

年		作付面積 (ha)	収穫量 (t)	単収 (kg/10a)	畳表 生産枚数 (万枚)	い生産 農家数 (戸)
H22	福岡	17	198	1,160	16	26
	熊本	882	11,300	1,280	389	679
23	福岡	13	153	1,180	8	20
	熊本	825	9,490	1,150	379	633
24	福岡	14	176	1,260	6	19
	熊本	840	10,400	1,240	326	620
25	福岡	17	223	1,310	6	17
	熊本	801	11,600	1,450	337	605
26	福岡	14	189	1,350	5	14
	熊本	725	9,930	1,370	362	562
27	福岡	14	165	1,180	4	14
	熊本	687	7,630	1,110	274	536
28	福岡	12	142	1,180	4	13
	熊本	631	8,200	1,300	250	509
29	福岡	10	123	1,230	3	13
	熊本	568	8,410	1,480	262	461
30	福岡	7	83	1,190	3	8
	熊本	534	7,420	1,390	258	442
R1	福岡	5	62	1,230	3	7
	熊本	471	7,070	1,500	247	399

資料：農林水産省統計部、全国い生産団体連合会(年は当該年の前年7月から当年6月まで)

注1：い生産農家数は、各年産の「い」の栽培を行った農家の数である。

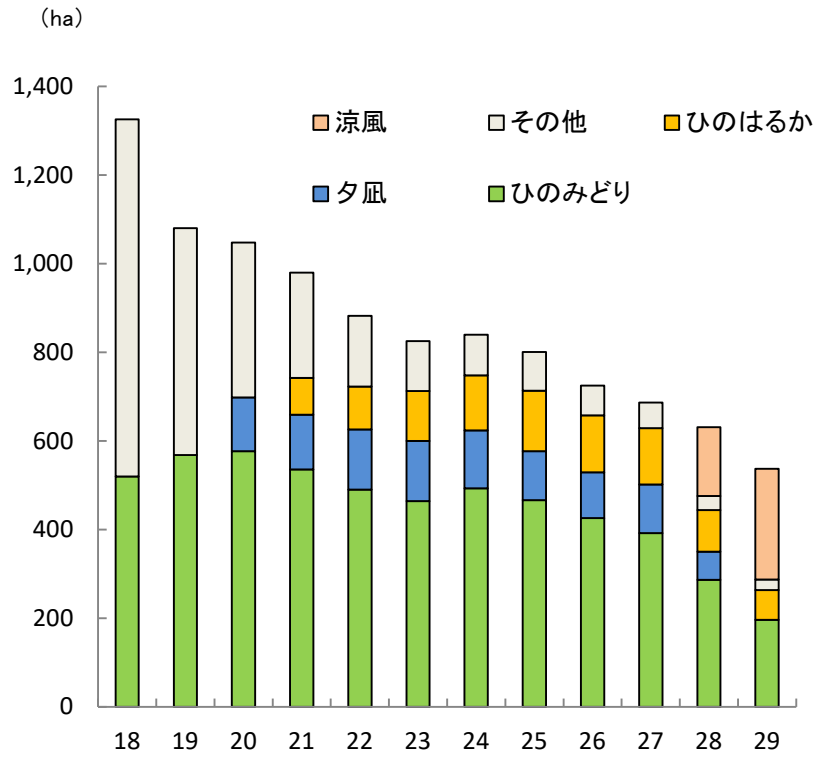
注2：平成13年までの畳表生産枚数は全国い生産団体連合会調べ、それ以外は農林水産省統計部調査(主産県)による。

3. 対策

○ 高品質畳表の生産により輸入品との差別化を推進するとともに、効率的な畳表生産体制を確立し、国産畳表の品質の高位平準化と供給の安定化などの構造改革を推進している。
 平成28年産から、作付けの始まった優良品種の「涼風」は平成29年には大きく作付け面積を伸ばし、平成29年産の優良品種（「ひのみどり」「涼風」「夕凧」「ひのはるか」）の普及率は計96%に拡大している。

○ 熊本県品種別生産状況

平成 年	作付 面積 ha	ひのみどり		涼風		ひのはるか		夕凧		合計	
		面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %	面積 ha	普及率 %
18	1,326	520	39%	-	-	-	-	-	-	520	39%
19	1,080	568	53%	-	-	-	-	-	-	568	53%
20	1,048	577	55%	-	-	-	-	121	12%	699	67%
21	980	536	55%	-	-	83	8%	123	13%	741	76%
22	882	490	56%	-	-	97	11%	136	15%	723	82%
23	825	464	56%	-	-	113	14%	136	16%	713	86%
24	840	493	59%	-	-	124	15%	131	16%	747	89%
25	801	467	58%	-	-	136	17%	111	14%	713	89%
26	725	426	59%	-	-	129	18%	103	14%	658	91%
27	687	392	57%	-	-	127	19%	110	16%	629	92%
28	631	287	45%	155	25%	94	15%	63	10%	599	95%
29	568	196	35%	250	44%	67	12%	31	5%	544	96%
30	534	178	33%	249	47%	61	11%	23	4%	511	96%



資料：熊本県（年は当該年の前年7月から当年6月まで）

(参考) 畳表の需要動向について

○ 畳替え枚数

住宅の洋風化など生活様式の変化に伴い、1世帯当たりの畳の畳替え枚数は減少傾向が続いている。

○ 新設住宅着工戸数

新設住宅着工戸数は、平成15年度から景気の回復に伴い上昇に転じたものの、耐震偽装の再発防止を目的とした改正建築基準法の施行(18年6月)により、19年度の新設着工数は激減し、20年秋以降の景気悪化の影響もあって、21年度においては、788千戸と前年度比28%の減少となった。

新設住宅着工戸数は、21年度の戸数を底として緩やかな増加傾向にあったが、令和元年度は前年度と比較すると7.3%の減少となった。

	畳替え枚数 (畳/戸)	全世帯数 (万戸)	総枚数 (万枚)	総枚数平成元年比 (%)	新設住宅着工戸数		新設住宅着工戸数平成元年比 (%)
					(千戸)	うち持ち家 (千戸)	
元	0.423	4,056	1,716		1,663	499	
7	0.331	4,424	1,464	85%	1,485	551	89%
11	0.266	4,681	1,245	73%	1,226	476	74%
15	0.232	4,926	1,142	67%	1,174	373	71%
19	0.202	5,171	1,043	61%	1,036	312	62%
20	0.159	5,232	831	48%	1,039	311	62%
21	0.130	5,288	688	40%	775	287	47%
22	0.144	5,336	771	45%	819	309	49%
23	0.109	5,378	586	34%	841	305	51%
24	0.151	5,417	820	48%	893	317	54%
25	0.156	5,459	852	50%	987	353	59%
26	0.139	5,495	764	45%	880	278	53%
27	0.145	5,641	818	48%	921	284	55%
28	0.087	5,695	495	29%	974	292	59%
29	0.088	5,748	506	29%	946	282	57%
30	0.115	5,801	667	39%	953	288	57%
R元	0.079	5,853	462	27%	884	283	53%

資料:総務省「家計調査」、「小売物価統計調査」「住民基本台帳に基づく世帯数」、国土交通省「建築着工統計調査」

注:畳替え枚数の試算方法は次のとおり。 世帯当たり畳替え金額 ÷ 畳表取替費

(家計調査)

(小売物価統計調査 東京都区部)

4. いぐさ・畳表関係予算(平成31年度)

①いぐさ・畳表農家経営所得安定化対策事業

0百万円

(26年度予算で261百万円を基金造成)

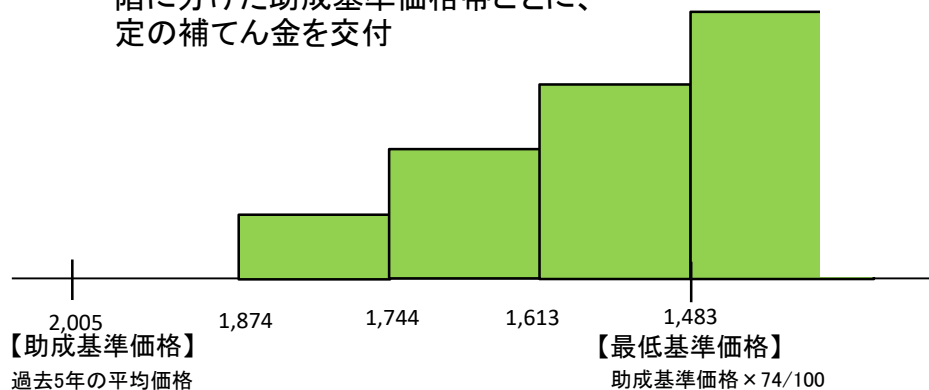
補助率: 定額(補てん額の3/4)
事業実施主体: 民間団体

対策のポイント

国産畳表の高品質化・ブランド化に取り組むいぐさ生産者の経営安定を図るため、国産畳表の価格が下落した際に補てん金を交付。

1 補てん金の考え方

畳表の市場価格の下落に応じて、5段階に分けた助成基準価格帯ごとに、一定の補てん金を交付

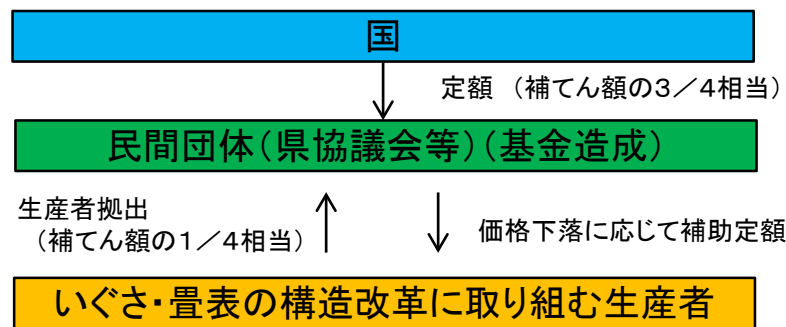


補てん単価の例(H29.7～「優」の場合)

助成基準価格帯	2,005 ~ 1,875	1,874 ~ 1,745	1,744 ~ 1,614	1,613 ~ 1,484	1,483 以下
助成基準価格との差	-	△ 130	△ 261	△ 391	△ 522
補てん額	-	104.8	208.8	313.6	417.6

※極、特選、優は補てん率80%、一般品は60%

2 補てん金の流れ



3 交付対象者要件

- 高品質品種(熊本県の場合、「ひのみどり」「夕風」「ひのはるか」「涼風」)の作付面積割合が、平成28年産において原則として5割以上であって、平成31年産までにその作付面積割合を1割以上増加させる計画を定めている生産者
- 農家所得の5割以上が農業所得であって、自営農業従事日数が年間60日以上である世帯員がいる生産者
- QRコード等による生産履歴付き畳表の出荷に取り組んでいる又は今後取り組むための計画を定めている生産者
- 本事業に係る加入契約を締結し、申込数量に応じた拠出金を納付している生産者

4 交付対象畳表要件

- 97cm以上(銘柄品は110cm以上)の原料いぐさにより製織される畳表

②茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業 1,408百万円の内数※

※いぐさ以外の品目を含む

補助率:定額
事業実施主体:民間団体

対策のポイント

いぐさ等の地域特産作物の産地が抱える課題を解決し、効率的な生産体制の確立を図るための新品種の導入、農業機械の改良等の技術実証や需要拡大等の取組を支援。

いぐさ産地が抱える課題

- ・生産者の高齢化と減少
- ・繁忙期(収穫、株分け)の作業の集中
- ・需要の減少
- ・輸入畳表との競合 等



課題解決のための取組支援

民間団体(県協議会等)

- ①需要・消費動向等の調査
生産体制や販売方針等の検討に資するため、需給動向や消費者ニーズ等の調査を実施
- ②課題解決のための実証
 - ・作業の組織化、共同化の試行
 - ・農業機械の改良
 - ・新品種の導入
 - ・試作品の評価 等
- ③需要拡大に資する取組
いぐさ・畳表に係る文化の普及、消費地におけるイベントへの専門家の派遣 等

定額
助成

国



いぐさ産地の持続的発展



農業機械の改良

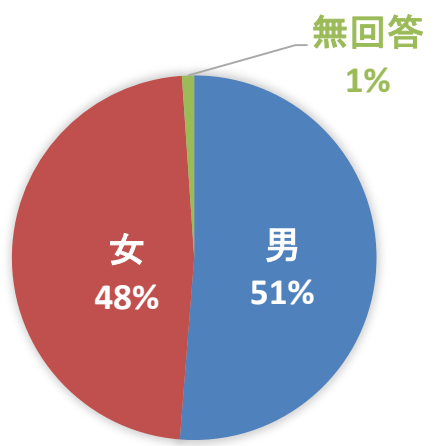


展示会等でのPR

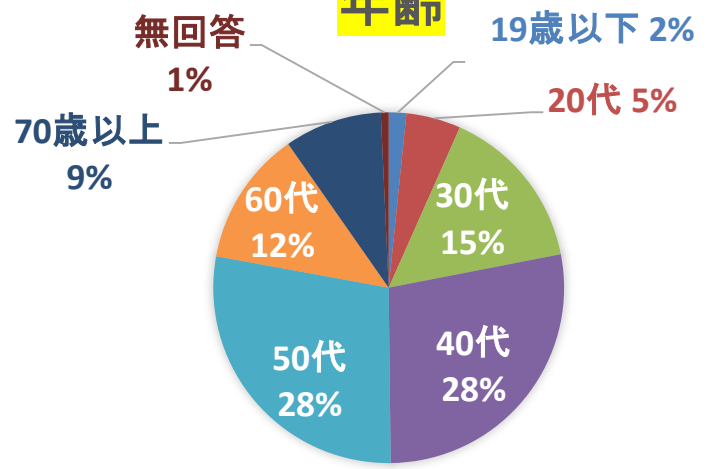
5. いぐさ・畳表に関するアンケート①

○ 令和元年11月25日～29日に農林水産省にある「消費者の部屋」の特別展示において、「和の空間でおもてなし」と題した和文化に関する展示を行い、来場者にアンケート調査を実施。

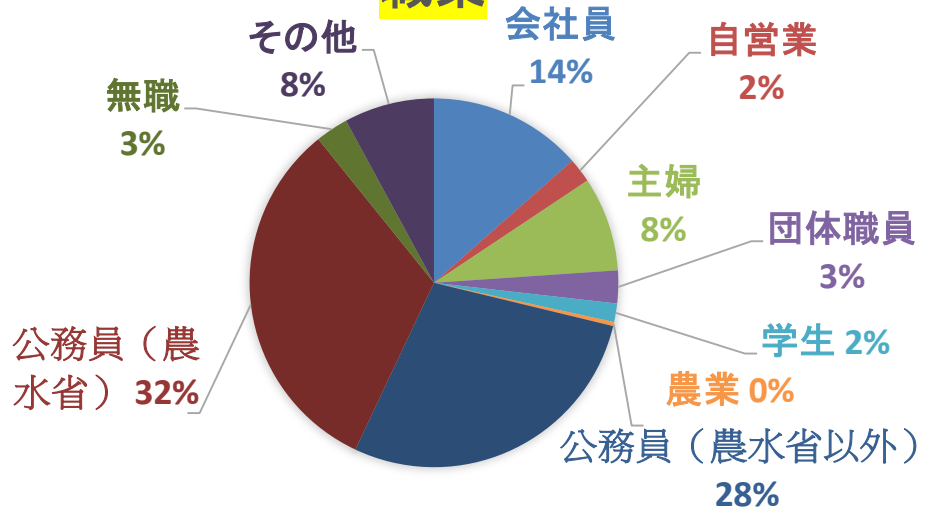
性別



年齢



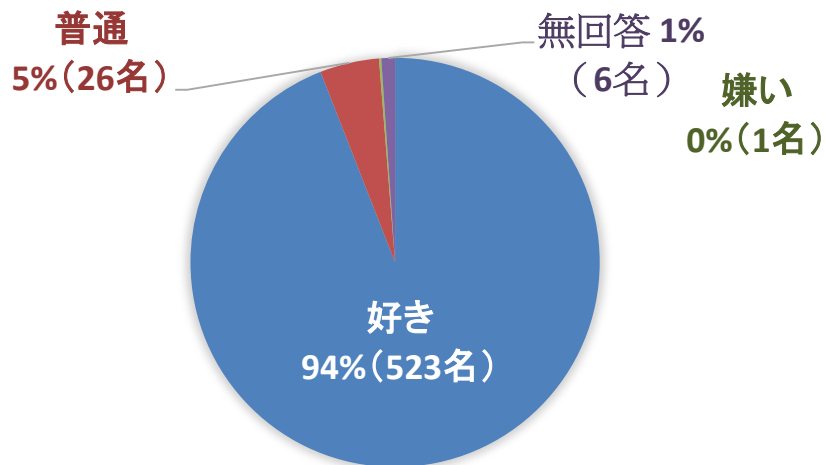
職業



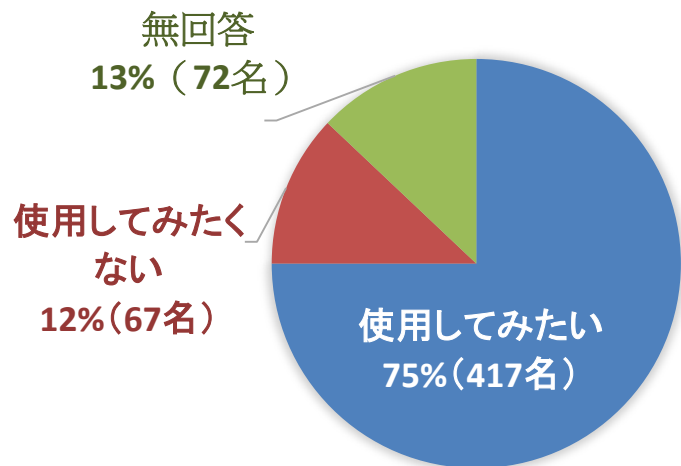
・アンケート回答人数 556名
(来場者数 756名)

5. いぐさ・畳表に関するアンケート②

畳の香りは好きですか



置き畳を使用してみたいですか



【事由記載欄に寄せられた意見】

置き畳を使用してみたい、使用してみたくない理由

○使用してみたい

- ・香りが良い（癒やされる、リラックスできる）。
- ・感触（肌触り）が良い。
- ・フローリングは夏はべたべた、冬は冷たい。
- ・フローリングに飽きた。
- ・おしゃれな感じがする。
- ・簡単に模様替えが出来る。

○使用してみたくない

- ・既に畳の部屋がある。
- ・部屋が狭い。
- ・カビが心配。
- ・段差ができる。
- ・置き畳を知らない。